

参考資料

-
- 1 取組予定事業一覧 75
(総事業費 5,000 千円以上事業)
 - 2 自治会整備 5 カ年計画取りまとめ表 … 88

参考資料

第4次伯耆町総合計画における取組予定事業一覧（R8～R12年度の総事業費5,000千円以上事業）

※（全体番号） ★：新規取組予定事業

※（基本方針） ①：住みよさを感じるまち、②：地域産業を育むまち、③：健やかで心豊かな人を育むまち、
④：健康で安心して暮らせるまち、⑤：住民とともに創る持続可能なまち

全体番号	事業名	基本方針	計画の名称 根拠となる その他	事業の政策分野	事業担当部門	事業の概要 (事業量等)	事業により改善すべき現状 又は 解決すべき課題、その他、備考等	実施 予定 年度	事業費 (単位： 千円)
1	紙おむつ燃料化処理委託事業	①	過疎計画	生活環境	環境整備室	町内の事業系使用済み紙おむつの収集及び燃料化装置の運転・維持管理業務を委託する。	施設等の使用済み紙おむつについては、大量に出されるため処理困難となっている。別処理することで、焼却をしやすくすること、炉を傷めにくくすることができる。	R8 - R12	93,615
★2	紙おむつペレットボイラー更新事業	①		生活環境	環境整備室	ゆうあいパルに設置する紙おむつペレットボイラーについて、設置後10年以上が経過し、修繕する回数も増えてきているためボイラーの更新を行う。	令和8～9年度の継続事業 令和8年度 ボイラー選定・設計 令和9年度 設置工事	R8 - R9	60,000
3	家庭用発電設備等導入推進補助事業	①		脱炭素	環境整備室	住宅用太陽光発電システムなどの自然エネルギー設備を設置される方に対し、補助金を交付する。	地球環境問題を解決するため、自然エネルギーの活用を積極的に支援し、エネルギー対策を推進していく必要がある。	R8 - R12	19,000
4	道路ストック点検事業	①		道路網	環境整備室	道路路面性状調査 法面点検（4ヶ所） 道路附属物点検	町道における通行者被害についての調査	R8 - R12	50,000
5	道路老朽化対策事業	①	過疎計画	道路網	環境整備室	個別施設計画に基づき、舗装の打ち替え等を行う。	路面の破損が著しい箇所の修繕を行うことにより、施設の長寿命化を図る。	R8 - R12	150,000
6	橋梁維持事業	①	過疎計画	道路網	環境整備室	橋梁の長寿命化計画に基づき、計画的に橋梁修繕を行う。 また、法定点検として2m以上の橋梁については点検を行う。	破損箇所修繕及び予防的修繕を行うことにより、施設の長寿命化を図る。 また、定期点検を行うことで事故防止及び早期修繕を行う。	R8 - R12	141,000
7	道路除雪車両維持事業	①	過疎計画	道路網	環境整備室	除雪車両の新規追加及び古くなった除雪車両の更新を行う。	除雪車両の充実を図り、作業の円滑化に寄与する。（想定機械：2t除雪ダンプ・ショベルローダー等）	R8 - R12	60,000
8	町道溝口中央線道路改良事業	①	過疎計画	道路網	環境整備室	町道改良事業 L=670m	道路の拡幅及び路面修正、側溝修繕	R8 - R10	60,000
★9	町道畑池線改良事業	①	過疎計画	道路網	環境整備室	町道改良事業 L=150m	交差点改良及び路肩整備	R8 - R10	50,000
★10	町道殿河内1号線改良事業	①		道路網	環境整備室	町道改良事業 L=160m	道路の拡幅及び側溝修繕	R8 - R10	60,000
11	町道根雨原大坂線道路改良事業	①	過疎計画	道路網	環境整備室	町道改良事業 L=180m	道路の拡幅及び線形改良	R8 - R11	100,000
★12	町道中学校線改良事業	①	過疎計画	道路網	環境整備室	町道改良事業 L=160m	歩道整備及び法面対策	R8 - R11	80,000

参考資料

第4次伯耆町総合計画における取組予定事業一覧 (R8～R12年度の総事業費5,000千円以上事業)

※(全体番号) ★:新規取組予定事業

※(基本方針) ①:住みよさを感じるまち、②:地域産業を育むまち、③:健やかで心豊かな人を育むまち、
④:健康で安心して暮らせるまち、⑤:住民とともに創る持続可能なまち

全体番号	事業名	基本方針	計画の名称 根拠となる その他	事業の政策分野	事業担当部門	事業の概要 (事業量等)	事業により改善すべき現状 又は 解決すべき課題、その他、備考等	実施 予定 年度	事業費 (単位: 千円)
★13	町道上ミ野上線改良事業	①	過疎計画	道路網	環境整備室	町道改良事業 L=100m	道路拡幅及び法面対策	R8 - R11	80,000
14	町道吉定大原線改良事業	①		道路網	環境整備室	町道改良事業 L=400m	歩道整備及び道路拡幅	R8 - R12	80,000
★15	水道施設改良事業 (焼杉第2水源地)	①	過疎計画	上下水道	上下水道室	焼杉新水源の開発 取水ポンプ据付 管路・ケーブル埋設 L=160m	取水流量を確保し水道の安定供給を実現させるため、令和7年度に掘削した井戸について、ポンプ据付、管路・ケーブル敷設工事を実施する。	R8	40,000
16	水道施設改良事業	①	過疎計画	上下水道	上下水道室	水道施設改良の年次的な実施。 丸山浄水改良、 吉定水源地受水槽改修、 根雨原水源地電気設備改修、 管路改良、更新 L=3,500m	上水道安定供給確保のため、老朽化した管路更新・施設改良等を行う。	R8 - R12	308,090
17	農業集落排水施設機能維持事業	①		上下水道	上下水道室	農業集落排水施設の機能維持 (遠藤・久古・吉定処理場)	施設稼働から20年以上経過し、機器の老朽化による故障等が発生しているため、老朽化機器の更新を行う。 また、機器更新を行う際に、省エネ機器の導入が可能な場合は、省エネ機器に更新することで維持管理費の削減を図る。	R8 - R10	93,000
18	浄化槽整備事業	①	生活排水処理基本計画 過疎計画	上下水道	上下水道室	合併浄化槽設置 15基	合併浄化槽対象地域へ年次的に設置を行い、生活環境の改善、公共用水域の保全を図る。	R8 - R12	37,500
19	職員PC端末更新事業	①		地域情報化	町づくり推進室	職員用パソコン(テレワーク用)・ 業務用パソコン端末 約300台更新 職員用パソコン:230台(H28/R4導入) 業務用パソコン:70台(R2導入)	使用期限の到来する職員等のPC端末を更新し、安全な業務環境を維持する。	R8 - R9	60,000
20	複合機更新事業	①		地域情報化	町づくり推進室	複合機 30台更新	複合機について更新を行い安全な業務環境を維持する。	R8	30,000
21	システムサーバー等更新	①		地域情報化	町づくり推進室	伯耆町で整備したサーバー、通信機器等の更新	機器更新による、情報システムの安全な稼働体制確保	R9 ・ R11	54,000
★22	グループウェア更新事業	①		地域情報化	町づくり推進室	現在利用している職員グループウェアサーバー老朽化及びサポート終了のため、更新を行う。	効率的な事務環境を整備する。	R8 - R12	37,000

参考資料

第4次伯耆町総合計画における取組予定事業一覧（R8～R12年度の総事業費5,000千円以上事業）

※（全体番号） ★：新規取組予定事業

※（基本方針） ①：住みよさを感じるまち、②：地域産業を育むまち、③：健やかで心豊かな人を育むまち、
④：健康で安心して暮らせるまち、⑤：住民とともに創る持続可能なまち

全体番号	事業名	基本方針	計画の名称 根拠となる その他	事業の政策分野	事業担当部門	事業の概要 (事業量等)	事業により改善すべき現状 又は 解決すべき課題、その他、備考等	実施 予定 年度	事業費 (単位： 千円)
23	マイナンバー事業	①		地域情報化	町づくり推進室	行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律の施行に対応する機器整備等。	法律の施行に対応する必要がある。普及促進に伴うシステム改修が次々と発生し、その仕様が、都度、国から示されるため事業費、負担割合等が現段階では算定不可。改修補助は通常10/10だが、厚労省のみ2/3のため8割で算定。	R8 - R12	20,000
★ 24	伯耆町ホームページ更新事業	①		地域情報化	町づくり推進室	伯耆町ホームページのリニューアル。記事内容等も再検討し、AIチャットボットの導入も行う。	情報発信をより充実させる。	R8	5,000
★ 25	CATV通信機器更新事業	①	過疎計画	地域情報化	町づくり推進室	CATV通信機器（GPON）の更新事業。現在利用している機器が製造終了し、併せてサポート終了するため更新。 岸本HE、溝口HE 2台設置	住民への安定的なサービス提供ができる。また、中海テレビ放送が10G通信サービスを展開しているが、現在伯耆町エリアでは1Gサービスしか展開できないため、10Gサービスが対応できる機器に更新する。	R8	40,000
★ 26	公式LINE導入事業	①		地域情報化	町づくり推進室	伯耆町から情報発信ツールの一つとして、公式LINEを導入し、さらなる情報共有を進める。	現在の情報伝達ツールに加え、新たに公式LINEを行い利用者にプッシュ型で情報伝達する。	R8 - R12	5,800
27	地籍調査事業	①	国土調査事業十九年計画	住宅・公園・緑地	地籍調査室	事業内容 現地立会、図根三角点測量 境界測量、地籍図作成等 調査面積（立会開始～完了予定） 金屋谷～岩立 2.80k㎡（H29～継続） 大寺～大殿 3.00k㎡（R4～継続） 長山～溝口 6.00k㎡（R7～）	「地籍」を確定することにより、住民財産の保全、土地の有効活用を目的とする。 下記地区については、事業の進捗に合わせて計画的に事前調査を実施し、調査図の整備・電子化を図ることで、事業の円滑な執行と公図の管理の適正化を図る。 ・幡郷地区（大寺～大殿） ・溝口地区（金屋谷～岩立、長山～溝口）	R8 - R12	150,000
28	公図電子化事業	①		住宅・公園・緑地	地籍調査室	公図 電子化 地籍調査が当面実施されない範囲 幡郷地区の一部 約10,000筆	・中長期の地籍調査事業計画の策定に使用する。 ・地籍調査事業の成果と切図の関係の適正化・電子化を実施する。 ・切図検索時間短縮による住民サービス向上と丈量図の数値化により各種事務向上を図る。	R8 - R12	15,000
29	地図管理事業	①		住宅・公園・緑地	地籍調査室	地籍調査成果及び電子化された公図を管理する地図管理システムとパソコン本体を更新し、管理運用する。	公図の交付や地籍調査成果の提供を継続実施するため、地図管理システム及びパソコンを更新する必要がある。	R8 - R12	5,940
30	空き家対策事業	①	過疎計画 空家等対策計画	住宅・公園・緑地	総務課	伯耆町内で増加しつつある空家への対策として、除却に対して補助等による活用・除去により、空家の解消を図る。	老朽空家の除却による景観・環境の保全や公共的な施設として有効活用を図るための事業に対する補助制度等を新設し、空家問題の解消に資する。	R8 - R12	25,000

参考資料

第4次伯耆町総合計画における取組予定事業一覧 (R8～R12年度の総事業費5,000千円以上事業)

※(全体番号) ★:新規取組予定事業

※(基本方針) ①:住みよさを感じるまち、②:地域産業を育むまち、③:健やかで心豊かな人を育むまち、
④:健康で安心して暮らせるまち、⑤:住民とともに創る持続可能なまち

全体番号	事業名	基本方針	計画の名称 根拠となる その他	事業の政策分野	事業担当部門	事業の概要 (事業量等)	事業により改善すべき現状 又は 解決すべき課題、その他、備考等	実施 予定 年度	事業費 (単位: 千円)
★31	ささふく水辺公園 トイレ増設事業	①	過疎計画	住宅・公園・緑地	分庁総合窓口課	イベント時等に増設できる移動式トイレ(トレーラートイレ)を購入するもの。また、防災トイレとしても活用する。	毎年5,000人弱の利用者がある中、グランドゴルフ大会等の際、既設トイレだけでは対応できない。河川敷内の公園であるため、大水の際は移動できる構造のトイレとする必要があるが、既設トイレと同様の構造とすると、設置費用が高額となるため、イベント時等に増設できるような移動式トイレを購入し、利用者の利便性向上させ、清潔感のある公園とすることができる。	R8	20,000
★32	ささふく水辺公園 舗装事業	①	過疎計画	住宅・公園・緑地	分庁総合窓口課	進入路を舗装とする。	現在の進入路は碎石舗装で未舗装であるため、大雨の際は雨水が溜まり、利用者に負担をかけている。	R8	12,000
★33	防災のしおり更新 事業	①		消防・防災	総務課	防災のしおり(平成30年度作成)の更新を行う。 防災のしおり 4,500部 ハザードマップ 4,600部印刷	現在配布されているものが、平成30年度発行のため、更新が必要となっている。 主な変更点 ・ハザードマップの更新(浸水想定区域、土砂災害警戒区域の変更等) ・避難情報の更新(避難勧告が廃止され、避難指示に統一する等)	R8	7,678
34	震災に強いまちづくり促進事業(住宅耐震診断等補助金)	①		消防・防災	総務課	補助金の交付 住宅耐震診断 5件 住宅耐震設計 3件 住宅耐震改修 3件	令和8年度以降も引き続き耐震改修促進計画が継続される見込みのため、町としても更なる耐震改修促進のため事業を実施する。	R8 - R12	5,000
35	消防施設整備事業	①		消防・防災	総務課	集落で行う消防施設整備に対して、補助を行い集落での消防能力の維持強化を図る。	消防施設の維持管理及び強化を図り、火災による被害の減少を図る。	R8 - R12	17,500
36	消防車更新事業	①		消防・防災	総務課	消防車の更新	消防車(積載車又はポンプ車) 1台更新 ・4分団積載車(H13.3登録)	R12	35,000
37	耐震性貯水槽整備 事業	①	過疎計画	消防・防災	総務課	防火水槽設置 2基/年	消火水利の不足箇所について、効率的な消火活動を実施出来るようにするため、耐震性貯水槽の整備を行う。	R8 - R12	125,000
★38	防災無線整備事業	①		消防・防災	総務課	防災行政無線機器の更新 令和8年度 設計 令和9年度 工事	防災行政無線について、屋外子局設備、個別受信機等の更新を行う。 前回更新:H22	R8 - R12	420,000
39	ため池防災減災対策推進事業	①	過疎計画	消防・防災	農林室	利用されていない防災重点ため池の廃止を行う。	管理されていない未使用の防災重点ため池について、所有者・管理者の意向を確認し廃止を行い、災害による被害の低減を図る。	R8 - R12	15,000

参考資料

第4次伯耆町総合計画における取組予定事業一覧（R8～R12年度の総事業費5,000千円以上事業）

※（全体番号） ★：新規取組予定事業

※（基本方針） ①：住みよさを感じるまち、②：地域産業を育むまち、③：健やかで心豊かな人を育むまち、
④：健康で安心して暮らせるまち、⑤：住民とともに創る持続可能なまち

全体番号	事業名	基本方針	計画の名称 根拠となる その他	事業の政策分野	事業担当部門	事業の概要 (事業量等)	事業により改善すべき現状 又は 解決すべき課題、その他、備考等	実施 予定 年度	事業費 (単位： 千円)
40	地方バス路線維持 対策事業	①	過疎計画	公共交通	経営企画室	広域路線バスへの補助及び町バス（スクール、デマンド、外出支援）の運行 ・広域路線バス補助事業 ・町バス運行事業 （運行委託、車両管理等） ・配車センター委託料	広域路線バス補助及び町バス運行により地域の公共交通を維持・確保する。	R8 - R12	686,000
41	車両購入事業（バス）	①	過疎計画	公共交通	分庁総合窓口課	スクール、研修で使用するバスを導入する。	現在、伯耆町型バス事業において、町所有車両11台で運行している。このうち、登録年度の古いバスの故障、修繕等が増加している。 ・平成19年登録車両（45人乗） ・平成21年登録車両（29人乗）	R9 ・ R12	29,000
42	スマート農業推進 事業	②		農業	農林室	スマート農業の実践に必要な農業用機械等の導入に係る経費を支援する。 要件：生産管理システム（スマホ、パソコン等で操作可能で、圃場管理や環境測定機能を有するもの）を導入すること。	農業における省力化、軽労化や労働力の確保・技術継承に向けてスマート農業の導入を推進する。	R8 - R12	26,500
43	担い手農業者機械 導入支援事業	②		農業	農林室	認定農業者等の担い手の現有機械の更新及び新規導入を促し、経営体の経費削減や作業効率向上を実現させ、農業経営の発展に資する。	今後、担い手が減少し、担い手1人当たりの経営面積が拡大していくことが想定され、農業機械の更新、新規導入が重要となる。	R8 - R12	50,000
44	担い手規模拡大促 進事業	②		農業	農林室	認定農業者が一定の要件を満たす利用権設定により規模拡大を図った場合に助成する。	担い手への農地の集積促進及び耕作放棄地の抑制。	R8 - R12	28,500
45	ともに目指す！担 い手強化支援事業	②		農業	農林室	意欲的な農業者や法人（認定農業者）が作成したプランに基づいて行う創意工夫を生かした経営多角化や雇用による規模拡大などの取組に対し支援を行う。（旧県事業のがんばる農家プラン事業）	この事業は、規模拡大、雇用増に応じた機械、設備費を県、町で支援し、担い手農家を継続的（3年間）に支援できる。令和8～9年度に2法人、2個人が予定されている。	R8 - R12	186,383
46	新規就農者育成総 合対策事業	②		農業	農林室	・新規就農者に対する経営発展のための機械・施設等の導入を国と県及び町（任意）で支援する。 （1）経営発展支援事業 ・次世代を担う農業者となることを目指し新たに経営を開始するのに必要な資金を交付する （2）経営開始資金（旧農業次世代人材投資資金）	就農初期に係る運転資金、使途を定めない給付金と新たに経営発展のための機械施設等の導入を支援する。	R8 - R12	6,000
47	親元就農促進支援 事業	②		農業	農林室	認定農業者等が将来経営を移譲する予定の3親等内の親族に対し、栽培技術や経営ノウハウ等の研修を実施する場合に支援する。	親元就農者を研修生として、親元に就農させることができ、担い手の支援及び、将来の経営移譲をスムーズにおこなうことができる。	R8 - R12	6,300
48	農業経営収入保険 料等緊急支援事業	②		農業	農林室	各農家が加入している農業経営収入保険及び農作物等の農業共済に係る保険料の支援を行う。	資材価格高騰等の影響を受ける農家に対する支援を行い、農業経営の負担軽減を図る。	R8 - R12	51,555
49	集落営農体制強化 支援事業	②		農業	農林室	小規模農家が共同で営農する集落営農組織に対して、組織化に向けた取組、機械設備の整備、経営の多角化などの支援を行う。	集落営農組織を最大3年間継続的に機械、施設導入を支援できる。 維持型（人材確保型支援）で畦畔管理省力化事業（法面用草刈り機）も活用できる。	R8 - R12	20,000
50	土地改良補助事業	②		農業	農林室	自治会・団体等が実施する農道・かんがい排水施設の施設整備支援	土地改良施設の集团的かつ継続的な保全管理を行い、地域の農業生産基盤の確保を図る必要がある。	R8 - R12	50,000

参考資料

第4次伯耆町総合計画における取組予定事業一覧 (R8～R12年度の総事業費5,000千円以上事業)

※(全体番号) ★:新規取組予定事業

※(基本方針) ①:住みよさを感じるまち、②:地域産業を育むまち、③:健やかで心豊かな人を育むまち、
④:健康で安心して暮らせるまち、⑤:住民とともに創る持続可能なまち

全体番号	事業名	基本方針	計画の名称 根拠となる その他	事業の政策分野	事業担当部門	事業の概要 (事業量等)	事業により改善すべき現状 又は 解決すべき課題、その他、備考等	実施 予定 年度	事業費 (単位: 千円)
51	しっかり守る農林基盤交付金事業	②		農業	農林室	地域の農業生産基盤整備の支援を図るため、大規模な整備事業については町が直接事業を実施する。	大規模な農業生産基盤の保全・機能向上を図る必要がある。	R8 - R12	50,000
52	農業水路等長寿命化防災減災事業	②	過疎計画	農業	農林室	農業水路等の農業水利施設が将来にわたってその機能を安定的に発揮していくために、適時・適切な長寿命化対策や防災減災対策を実施する。	農業水利施設の継続的な保全管理を行い、地域の農業生産基盤の確保を図る必要がある。	R8 - R12	50,000
53	大山山ろく開拓事業	②		農業	農林室	大山山麓開拓パイロット事業	基幹水利施設管理事業負担金、国営造成施設管理体制整備事業負担金、大山山麓地区土地改良区関連土地改良区補助金、その他関係協議会負担金	R8 - R12	25,000
54	県営富江地区かんがい排水事業	②	過疎計画	農業	農林室	県営富江地区かんがい排水事業負担金 事業総額 7億 町負担額 10% 地元分担金 7.5%	令和8～9年度事業実施見込 町負担分は過疎債充当予定 国の内示額、入札状況、資材高騰などにより、事業費増、期間変更など見込まれる。	R8 - R9	36,750
55	有害鳥獣駆除事業	②	過疎計画	農業	農林室	イノシシの捕獲奨励金の交付・捕獲作業の委託・集落等への侵入防止策の補助	イノシシの個体数の増加や生息範囲が拡大しており、鳥獣被害が増加している。そのため、各集落等で侵入防止柵等により対策を行い、さらに出没するイノシシを捕獲し、個体数の減少を図ることが必要。	R8 - R12	41,825
56	景観形成作物栽培促進事業	②	過疎計画	農業	農林室	水田の地力増進及び観光資源の確保を目的として、景観の良いJR、国道などの沿線に景観作物(菜の花、レンゲ、ヒマワリ)等の作付けを促し景観形成を推進する。	レンゲの交付金について、開花からすき込みまでの期間が短く、景観として鑑賞する期間が短い。 ヒマワリの圃場について、本数、刈取り時期等の問い合わせが多いため圃場の案内が必要。	R8 - R12	45,000
57	主要園芸品目生産振興事業	②		農業	農林室	近年の気象災害や資材等高等の影響を受けやすい白ねぎ・ブロッコリー・らっきょうを中心とした主要園芸品目の機械導入、収量向上・品質安定のための新技術の普及促進、基盤整備、広域的な生産組織活動等を総合的に支援することで、園芸産地の強化を図ることを目的とする。	鳥取県西部の主要農作物であるブロッコリー、白ネギが近年高温等の気象災害を受け出荷量、品質ともに低下している。収量向上と品質安定のため、生産者や生産組織への機械、設備導入の支援が必要である。	R8 - R12	20,691
58	環境保全型農業直接支払交付金事業	②		農業	農林室	有機農業など、化学肥料・化学合成農薬を原則5割以上低減する取組と合わせて行う地球温暖化防止や生物多様性保全等に効果の高い営農活動を支援する。 実施組織 2組織(合計6農業者)	営農活動における化学肥料低減や環境に配慮した活動を継続的に実施することが環境負荷低減を図る上で必要である。 令和9年度に国の根本的な制度見直しが見込まれている。	R8 - R12	7,340
59	中山間地域等直接支払交付金事業	②		農地	農林室	中山間地域等の国土保全・水源涵養等の多面的機能を確保するため、その地域の水田の良好な管理を図る。 ・集落協定 51集落 ・個別協定 3協定 ・協定面積 617ha	中山間地域等の国土保全・水源涵養等の多面的機能を確保するため、その地域の水田の良好な管理を推進。	R8 - R12	474,685
60	多面的機能支払交付金事業	②		農地	農林室	集落等の組織で実施する農業用施設の共同管理や同施設の機能向上や、農業の持つ多面的機能の保全を図る取り組みを支援する。 実施組織:28組織	地域の農業生産基盤の保全を図るためには、各集落等の農業用施設維持管理の集団的な取り組みを継続的に実施していく必要がある。	R8 - R12	180,690

参考資料

第4次伯耆町総合計画における取組予定事業一覧（R8～R12年度の総事業費5,000千円以上事業）

※（全体番号） ★：新規取組予定事業

※（基本方針） ①：住みよさを感じるまち、②：地域産業を育むまち、③：健やかで心豊かな人を育むまち、
④：健康で安心して暮らせるまち、⑤：住民とともに創る持続可能なまち

全体番号	事業名	基本方針	計画の名称 根拠となる その他	事業の政策分野	事業担当部門	事業の概要 (事業量等)	事業により改善すべき現状 又は 解決すべき課題、その他、備考等	実施 予定 年度	事業費 (単位： 千円)
61	農地中間管理事業	②		農地	農林室	農地中間管理事業で農地を集積した地域等を支援する機構集積協力金交付事業補助金及び農地中間管理事業の事務費	令和7年度以降は富江かんがい排水事業に伴う農地集積に係る機構集積協力金。その他は農地中間管理事業の委託事務費。	R8 - R12	8,000
62	優良雌牛家畜導入事業	②		畜産	農林室	県内外から優良な雌牛を導入し、能力の高い子牛の生産を図ることにより、高い価格での販売が出来るよう支援する。	県内の市場で取引される子牛は平均価格が高いため、子牛の新規導入が難しい状況であることから、優良な子牛の導入への支援を行う必要がある。	R8 - R12	9,500
63	大滝放牧場管理事業	②		畜産	農林室	大滝放牧場の放牧牛の育成管理、草地管理、施設管理	和牛繁殖経営への若い参入者や規模拡大を希望する農家もあるが、畜舎整備や労力の負担が大きい。この事業により、農家の省力化・コスト低減を図り、さらに足腰の強い繁殖雌牛の育成を図る。	R8 - R12	8,960
64	大滝放牧場草地改良事業	②	過疎計画	畜産	農林室	大滝放牧場の草地14haについて、4ヵ年計画で草地改良を実施する。	大滝放牧場の芝草地改良を行い、放牧頭数の増加を図り、農家の省力化・コスト低減による規模拡大を推進し、畜産農家の経営安定を図る。	R8- R12	6,774
65	堆肥センター管理事業	②		畜産	農林室	伯耆町堆肥センターの維持管理運営・指定管理・施設維持管理	耕畜連携の推進	R8 - R12	14,244
66	森林整備事業	②		林業	農林室	森林環境譲与税の創設に伴う、森林経営管理法の施行により、町において森林管理に関する業務を行う。	森林管理について、森林所有者の意向等を把握し、放置されている森林の危険箇所抽出、危険度・緊急性等による優先度の決定が必要である。	R8 - R12	55,000
67	森林整備地域活動支援交付金事業	②		林業	農林室	集落等で森林施業の基となる「森林経営計画」の樹立を推進する。 この事業では、集落の委託を受けて「森林経営計画」を樹立する森林組合・造林公社への支援を行う。	木材市場の恒常的な低迷と森林所有者の不在などで森林が放置され、森林の荒廃が進行している。国土保全の観点からも森林施業を推進し、適正な森林環境を維持する必要がある。	R8 - R12	7,500
68	間伐材搬出補助事業	②		林業	農林室	森林の持つ公益的機能である、二酸化炭素の吸収や災害発生の抑制機能を十分に発揮させるため、適切な手入れが必要となる。森林整備を促進するため、間伐材搬出への支援を行う。	森林組合等が行う間伐事業に対して、伯耆町単独でかさ上げを行うことにより、間伐材の搬出・販売を促進し、健全な森林の育成、木材資源の有効活用を図る必要がある。（森林整備事業へ移行）	R8 - R12	10,000
69	松くい虫防除事業	②		林業	農林室	薬剤による空中散布や被害木伐倒による駆除を行う。	県が指定する高度公益機能松林及び町の地区保全松林の維持を図る必要がある。	R8 - R12	90,000
70	町林道維持事業	②		林業	農林室	町管理林道の管理（除草作業等）	町が管理すべき林道の管理	R8 - R12	6,000
71	大山ガーデンプレイス管理事業	②		観光	商工観光室	大山ガーデンプレイスの管理・運営に関する事業。指定管理による運営。交流の拠点として、地元特産品と観光が連携した地域産業を行う。	施設設備の老朽化により緊急修繕が必要となるケースが毎年生じている。	R8 - R12	58,055
★72	大山望空調整備事業	②	過疎計画	観光	商工観光室	ふれあい交流ターミナル大山望について、空調設備整備を実施し、施設内の快適性を高め、商品の適切な管理及び従業員の労働環境の改善、利用者の滞在時間延長、夏季の熱中症予防を図る。	近年の気候変動による猛暑により、施設内の気温上昇が課題となっており、空調整備が必要である。	R8	32,200
73	大山望管理事業	②	過疎計画	観光	商工観光室	ふれあい交流ターミナル（大山望）の管理・運営に関する事業。指定管理による運営。地元農産品の販売等により、農林畜産業の活性化を図る。町内産の野菜等の店頭販売や、町内で飼育された和牛の肉の販売等を行う。	地元特産品の取扱いを通じ、県内外から多くの来訪者がある地域の拠点施設である。今後は、ニーズの変化に対応しつつ、衛生管理の徹底や安全・安心に利用できる環境整備を進める必要がある。	R8 - R12	75,245

参考資料

第4次伯耆町総合計画における取組予定事業一覧 (R8～R12年度の総事業費5,000千円以上事業)

※(全体番号) ★:新規取組予定事業

※(基本方針) ①:住みよさを感じるまち、②:地域産業を育むまち、③:健やかで心豊かな人を育むまち、
④:健康で安心して暮らせるまち、⑤:住民とともに創る持続可能なまち

全体番号	事業名	基本方針	計画の名称 根拠となる その他	事業の政策分野	事業担当部門	事業の概要 (事業量等)	事業により改善すべき現状 又は 解決すべき課題、その他、備考等	実施 予定 年度	事業費 (単位: 千円)
74	ふれあいの森等管理事業	②		観光	商工観光室	ふれあいの森・交流の森・溪流植物園の管理。運営に関する事業。指定管理による運営。	溪流植物園は、夏場は特に来園者が急増していることから、来園者が快適に利用できるよう管理運営に努める必要がある。	R8 - R12	25,550
75	おにっ子ランド管理事業	②		観光	商工観光室	おにっ子ランド等施設の維持管理を行い、利用促進と来訪者の快適な利用に寄与する。	施設の老朽化が生じているため適宜修繕等が必要となる。	R8 - R12	14,215
76	樹水高原観光施設管理事業	②	過疎計画	観光	商工観光室	伯耆町の観光振興を推進するため、樹水高原を中心とした施設整備等を行う。 ・索道事業に係る繰出金(索道の計画的修繕) ・樹水フィールドステーション ・樹水高原駐車場トイレ等	近年の温暖化傾向により冬季のスキー客数が減少している。圧雪車をはじめ、耐用年数を超える見込みのものもあり、スキー場のあり方を検討する必要がある。また、需要の見込める観光リフトの計画的な修繕が必要となっている。	R8 - R12	95,000
77	本気で頑張る産業支援事業	②		商工業	商工観光室	町内の産業振興に寄与すると認められる地域振興を活用した事業について、補助を行う。 (1)商品・サービス等開発事業 (2)市場開拓事業 (3)競争力強化事業 (4)人材育成事業 (5)リノベーション事業 (6)国県等補助対象事業	伯耆町の経済活性化及びイメージアップを図るため、町内事業者を支援する。県の事業も有効に活用し、事業者の経営発展を支援していく。	R8 - R12	15,000
★78	岸本工業団地再整備事業	②		商工業	経営企画室	岸本工業団地への工場等進出に備え、都市計画法の開発許認可上、再整備が必要である。令和6年度に実施した測量を基に再整備設計を行う。	岸本工業団地は令和9年度まで公共工事の残土仮置き場として使用される予定。設計は仮置き場としての使用終了後に行う。	R10	5,000
★79	岸本中学校改修工事	③		学校教育	総務学事室	岸本中学校の校舎内給水管を全取替する。	水道水に臭気が生じており、飲用に適さない状況にある。原因の特定は困難であるため、全取替を行う。	R8	20,000
★80	八郷小学校改修工事	③		学校教育	総務学事室	・女子トイレ(1、2、3階)の和式便器を洋式便器に改修する。 ・理科室給水の濁り解消のため配管取替を実施する。 ・校舎外壁化粧底の補修を実施する。	・女子トイレの洋式化を進め、利用者の利便性向上を図る。 ・理科室給水に関しては、濁りが出ているため配管の取替え解消を行う。 ・外壁化粧底に関しては、亀裂が広範囲に入っており落下の危険性があるため補修を行う。 ※校舎照明のLED化も実施(別途計上)	R8	4,420
★81	学校校舎照明LED化事業	③	過疎計画	学校教育	総務学事室	町立学校校舎内照明のLED化	2027年蛍光灯生産終了に対応するため、校舎内照明のLED化を実施する。	R8 - R9	120,000
82	小中学校屋外運動場整備事業	③	過疎計画	学校教育	総務学事室	小中学校の屋外運動場の表土の下層の石などが表面に出ないように、土の補充・整地・整備を行うもの。	令和4～7年度に順次運動場整備を行った。令和8年度以降は経過をみて実施検討するとともに、テニスコートの整備を検討する。	R8 - R12	13,500
83	学校ICT環境整備事業	③		学校教育	総務学事室	学校ICT環境に関する、運用保守委託料、情報機器リース料、ネットワーク機器更新費、ICT支援員報酬等。	費用対効果、情報セキュリティ	R8 - R12	85,000

参考資料

第4次伯耆町総合計画における取組予定事業一覧（R8～R12年度の総事業費5,000千円以上事業）

※（全体番号） ★：新規取組予定事業

※（基本方針） ①：住みよさを感じるまち、②：地域産業を育むまち、③：健やかで心豊かな人を育むまち、
④：健康で安心して暮らせるまち、⑤：住民とともに創る持続可能なまち

全体番号	事業名	基本方針	計画の名称 根拠となる その他	事業の政策分野	事業担当部門	事業の概要 (事業量等)	事業により改善すべき現状 又は 解決すべき課題、その他、備考等	実施 予定 年度	事業費 (単位： 千円)
84	学校PC等端末更新	③		学校教育	総務学事室	経年劣化に伴う機器更新。 ・教職員用パソコン（未定） ・児童生徒用のChromebookの更新は令和8年実施。	教職員用パソコンは役場職員分と共同で調達することで導入費用を削減する。ChromebookのOS更新期限（未定）まで。	R8	78,000
85	少人数学級実施事業	③	過疎計画	学校教育	総務学事室	小中学校の学級編成基準に基づいて、少人数学級を実施に伴う教員定数増に伴う人件費については、実施する市町村が一定の費用を負担するもの。	複式学級解消並びに少人数学級編成を行うことにより、児童1人1人に応じたきめ細やかな指導を行うことができる。	R8 - R12	150,000
86	スクールソーシャルワーカー活用事業	③		学校教育	総務学事室	児童生徒の不登校や問題行動等の背景には、家庭環境や家族個々が抱える個別の課題が絡み合っている。そのため、スクールソーシャルワーカーを配置し、学校と連携し未然防止を図るとともに、各学校のケース会議や要保護児童対策地域協議会などに参加し、関係調整等の役割を行う。	福祉の手法を教育現場に取り入れ、関係機関が連携し、組織的・体系的に取り組むが、教職員の異動により、取組み方に戸惑う教員もいる。そのために、スクールソーシャルワーカー活用ガイドブックを改訂して、周知していく。	R8 - R12	40,000
87	特別教育支援員配置事業	③		学校教育	総務学事室	小中学校において教育上特別の支援を要する児童生徒が在籍する通常学級ならびに、特別支援学級のうち、日常的に介助を要する児童生徒が在籍する学級に介助員として学習支援員を配置するもの。	個別の支援計画の作成・引継により、保小、小中、中高の接続部分での情報共有・指導の充実を図る。特別な支援を要する児童生徒の対応について、医療との連携や保護者の理解啓発が課題となっているので、早期（保育所）からの情報提供や教育相談を行っていく。	R8 - R12	200,000
88	コミュニティスクール推進事業	③		学校教育	総務学事室	「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第47条にあるコミュニティスクール（学校運営協議会制度）の活用を推進するため、保護者や地域住民との合議制による学校運営協議会を通じて、一定の権限と責任を持って学校運営に参画し、よりよい教育の実現を目指すもの。	学校運営協議会制度の理解が不十分である。全学校がコミュニティスクールとして指定されているので、周知を図り、中学校区でのネットワーク会議を活用していく。	R8 - R12	15,000
89	小学校外国語教育推進事業	③		学校教育	総務学事室	外国語活動の時間の充実のため、町内全小学校を担当する外国語指導助手（ALT）を配置する。外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しむ学習を展開する。	小学校の外国語活動の指導においてネイティブスピーカーの英語にふれることで、イントネーションや発音への意識をもたせるとともに、異文化への関心を高める。	R8 - R12	16,000
90	外国青年招致事業	③		学校教育	総務学事室	英語圏から外国青年を招致した外国語指導助手（ALT）として各中学校に配置することで、国際理解・語学教育の充実を図るもの。	中学校の英語の指導においてネイティブスピーカーの英語にふれることで、イントネーションや発音への意識をもたせるとともに、異文化への関心を高める。	R8 - R12	43,750
91	学校司書設置事業	③	過疎計画	学校教育	総務学事室	選書、図書の受け入れ・廃棄における手続き、図書館内の整備・企画、生徒会委員会活動の補助、調べ学習補助、校外連携等にあたる学校司書を各学校に配置する。	読書アドバイス、多様な資料の提供、子どもたちの調べ学習など、学校図書館を利用した学習を充実させるため、児童生徒を支援できる人的体制整備が必要である。	R8 - R12	90,000
92	放課後子供教室事業	③		学校教育	生涯学習室	放課後の子どもが、安心・安全に過ごし、多様な体験・活動に取り組み、多くの友達や異年齢の子ども、地域の大人たちと関わる場づくりとして放課後子ども教室を実施する。	放課後における、児童の活動の場所を確保する。	R8 - R12	14,575
93	教育支援センター推進事業	③		学校教育	総務学事室	伯耆町教育支援センター（えがお）は、主に不登校傾向にある児童生徒への学習支援や生活指導を行う。また不登校やいじめ、友人関係などで悩みを抱える児童生徒・保護者の相談を受け、不登校・問題行動等の未然防止を図ることを目的として設置する。	不登校傾向の児童生徒の再登校までの支援機関としてスクールソーシャルワーカーや各学校の教育相談担当者と連携して取り組む。	R8 - R12	15,000

参考資料

第4次伯耆町総合計画における取組予定事業一覧（R8～R12年度の総事業費5,000千円以上事業）

※（全体番号） ★：新規取組予定事業

※（基本方針） ①：住みよさを感じるまち、②：地域産業を育むまち、③：健やかで心豊かな人を育むまち、
④：健康で安心して暮らせるまち、⑤：住民とともに創る持続可能なまち

全体番号	事業名	基本方針	計画の名称 根拠となる その他	事業の政策分野	事業担当部門	事業の概要 (事業量等)	事業により改善すべき現状 又は 解決すべき課題、その他、備考等	実施 予定 年度	事業費 (単位： 千円)
94	地域学校協働本部事業	③		学校教育	生涯学習室	各学校に学校支援コーディネーター及びそれらを統括する統括コーディネーターを配置し、学校と地域との連携を図る。また、中学生を対象に伯耆未来塾を開催する。	地域全体で学校教育を支援するため、学校と地域との連携体制の構築を図り、教員支援を行うことにより、教員が子どもと向き合う時間の拡充を図る。伯耆未来塾では学習習慣の確立や基礎学力の定着を目指す。	R8 - R12	24,090
95	学校給食調理等委託事業	③		学校教育	給食センター	専門性の高い技術（衛生管理体制等）を有し、業務実績がある事業者調理業務等を委託することで、安全で安心な学校給食を児童生徒に提供する。令和7年度中に次回の委託業者を選定し令和8～10年度の契約を行う予定。	3年ごとに委託契約を行う	R8 - R12	166,665
★96	岸本公民館空調設備改修事業	③		生涯学習	岸本公民館	計画的に空調設備の更新を行い、利用者の利便性向上を図るものである。	・空調設備工事 ・電気設備工事	R8 - R12	62,000
★97	二部公民館改修工事	③	過疎計画	生涯学習	二部公民館	たたら会館の空調を天井埋込式から床置きに更新するほか、必要に応じて、照明のLED化、防水工事等を実施する。	空調については、平成6年の設置当初から更新しておらず、供給部品がないため更新し、利用者の利便性を向上させる。	R8 - R10	5,059
★98	日光公民館施設改修事業	③	過疎計画	生涯学習	日光公民館	体育館屋根の改修、ランチルーム及び調理室に空調を設置するほか、施設の機能維持に必要な改修を実施する。	公民館機能の拡充と、避難所としての機能維持のため必要な改修を行う。現在使用していない空き教室や、農村広場の有効利用について検討する必要がある。	R8 - R9	5,534
★99	住宅新築資金等貸付金不良債権処理	③		人権	人権政策室	住宅新築資金等貸付金のうち不良債権化した貸付について、鳥取県住宅新築資金等貸付助成補助金を受けながら不良債権処理を行う。	住環境の改善整備により住民福祉の向上を図る事業で、貸付事業は平成7年度で終了したが、償還事務は依然として残っている。	R8	6,298
100	住宅管理事業	③	過疎計画	人権	人権政策室	町営住宅を適切に管理し、住宅に困窮する低所得者等の居住の安定を図る。	昭和52年、昭和55年の建設された住宅であり、老朽化が著しいため、随時改修が必要。	R8 - R12	7,450
101	人権教育推進事業	③		人権	人権政策室	同和問題を始めたとした普遍的な人権課題及び個別具体的な人権課題の学習・啓発を推進するため、人権教育推進員を配置し、各種事業を実施する。	町民の生活実態に現れる人権課題の解決を目的として、住民学習を計画・運営を行うため、人権教育推進員を設置する。明るいまちづくり懇談会、人権啓発講座「ひまわりセミナー」企画、準備、助言及び、各団体への講師として指導助言を行う。	R8 - R12	19,050
102	人権教育・啓発推進協議会運営事業	③		人権	人権政策室	同和問題を始めたとした人権問題の早期解決を図るため、伯耆町人権教育・啓発推進協議会を運営し、積極的な活動の推進を図る。	各種研修会等の実施や参加により、人権意識の高揚に努める。	R8 - R12	7,000
103	隣保館管理運営事業	③		文化	文化センター	地域住民の自立意識の高揚と社会的自覚の促進の充実を図り、国民的課題としての同和問題の速やかな解決に資する。また、伯耆町の人権教育・啓発の拠点施設としての役割と、第二種社会福祉事業の拠点として地域住民の福祉と交流の場としての隣保館の管理運営を行う。	文化センターは、人権情報の発信基地として、資料の収集、貸出や各種講習会の開催など、町民のニーズにあった人権情報を提供している。今後も様々な事業により多くの方が交流し、学習することができる場を提供していくことが必要である。	R8 - R12	50,000
104	町内遺跡発掘調査事業	③		芸術文化	生涯学習室	開発が予定される場所を試掘調査し、遺跡の範囲及び性格の確認を行い、開発との調整を図る。	毎年、緊急の試掘調査が入るため、文化財保護事務事業に影響が出ている。また、埋蔵文化財が増える一方で、整理保管作業の人員及び場所の確保が課題である。	R8 - R12	9,000

参考資料

第4次伯耆町総合計画における取組予定事業一覧（R8～R12年度の総事業費5,000千円以上事業）

※（全体番号） ★：新規取組予定事業

※（基本方針） ①：住みよさを感じるまち、②：地域産業を育むまち、③：健やかで心豊かな人を育むまち、
④：健康で安心して暮らせるまち、⑤：住民とともに創る持続可能なまち

全体番号	事業名	基本方針	計画の名称 根拠となる その他	事業の政策分野	事業担当部門	事業の概要 (事業量等)	事業により改善すべき現状 又は 解決すべき課題、その他、備考等	実施 予定 年度	事業費 (単位： 千円)
105	文化財保護	③		芸術文化	生涯学習室	町内の指定文化財等の維持管理を行う。 国指定文化財 1件 県指定文化財 3件 町指定文化財 11件 国登録有形文化財 8件	文化財保護のため常時巡視が必要である。また、災害等の被害があった場合には速やかに対応する必要がある。	R8 - R12	14,000
★ 106	美術館LED照明改修	③		芸術文化	写真美術館	展示室についてはLED改修済みではあるが、そのほかについては未改修であり、改修する必要がある。	2027年蛍光灯生産終了に対応するため、LED化を実施する。	R8	9,547
107	鬼の館運営事業	③		芸術文化	生涯学習室	本町の文化交流拠点施設として、文化に直接触れる機会を提供し、町内サークル等の発表の場としての利用及び施設の管理を行う。	蛍光灯の製造・輸出入禁止にあたり、該当設備の取替が必要。	R8 - R12	63,510
★ 108	鬼の館広場整備事業	③	過疎計画	芸術文化	生涯学習室	広場の半分(5,200㎡)を米子道4車線化の発生土仮置き場として事業者に貸付を行っており、工期は令和12年度までの見込みとなっている。工事完了後の利用計画について検討し、設計を実施する。	既設と合わせた適正規模の駐車場を整備し、残部分については芝生化等により、町民の憩いの場としての整備を検討する。	R12	5,000
109	海洋センター体育館照明LED	③		生涯学習	スポーツ公園	海洋センター体育館の照明設備をLEDに改修する。	B&G財団修繕助成対象事業として実施する。	R8	10,000
110	母子健康診査事業	③		子ども・子育て支援	健康増進室	妊産婦、乳幼児の健康の保持・増進を図るため、各種健診を実施する。	各時期で成長発達に応じた不安や悩みを抱える保護者に対して、適切な助言指導と相談場所の確保が必要。	R8 - R12	59,925
111	産後ケア事業	③		子ども・子育て支援	健康増進室	出産後1年以内の母子に対して、心身のケアや育児のサポートを行い、産後も安心して子育てができるよう産後ケア事業を実施する。	核家族化で産後に支援者がいない家庭や、入院期間の短縮で育児手技を十分習得できない産婦が増えている。育児不安や産後うつ予防に対する支援が必要。	R8 - R12	17,500
112	乳児家庭保育支援事業	③	過疎計画	子ども・子育て支援	福祉支援室	家庭で乳児(0歳児)の保育を実施する保護者に対して給付金を支給する。	近年、乳児(0歳児)の保育所への入所が増加している。その原因の一つに、経済的な理由による、産後の早い段階での就労の増加がある。子育てにとって大切な乳児期に、家庭での育児に専念できるような対策が必要。	R8 - R12	58,410
113	学校給食費補助事業	③		子ども・子育て支援	給食センター	子育て世帯の経済的負担軽減のため、児童生徒の学校給食費について補助をする。近年は食材費の価格上昇に相応し、助成額を増やしているため毎年増額改定を実施している。	国が検討中で、近い将来に示される予定の学校給食費の無償化が運用された場合、負担助成の必要がなくなるなど、事業土台そのものに大きな影響が見込まれる。	R8 - R12	180,650

参考資料

第4次伯耆町総合計画における取組予定事業一覧 (R8～R12年度の総事業費5,000千円以上事業)

※(全体番号) ★:新規取組予定事業

※(基本方針) ①:住みよさを感じるまち、②:地域産業を育むまち、③:健やかで心豊かな人を育むまち、
④:健康で安心して暮らせるまち、⑤:住民とともに創る持続可能なまち

全体番号	事業名	基本方針	計画の名称 根拠となる その他	事業の政策分野	事業担当部門	事業の概要 (事業量等)	事業により改善すべき現状 又は 解決すべき課題、その他、備考等	実施 予定 年度	事業費 (単位: 千円)
★114	放課後児童クラブ 民間委託の実施	③		子ども・子育て支援	福祉支援室	安心した保育環境を提供するため、放課後児童クラブの運営を外部委託する。	放課後児童クラブ職員の年齢が高齢化、職員募集をするが職員確保に苦慮している。また、職員の労務管理等についての事務負担が大きくなっていることから、安定的な運営を行っていくための体制確保が課題となっている。	R8 - R12	214,135
115	検診事業	④	過疎計画	健康づくり	健康増進室	各種がん検診、肝炎ウイルス検診、骨粗しょう症検診、胃がんリスク層別化検診を行う。	症状の無い病気を早期に発見するには、無症状のうちから定期的な検診を受けることが大切である。	R8 - R12	163,500
116	健康経営地域活性化起業人交流事業	④		健康づくり	経営企画室	「フィットネス&スタジopal」 「みぞくちテラソ」の安定運営や地域活性化を図るため、専門知識やノウハウを有する企業から社員の派遣を受け、伯耆町の事業展開に生かす。	健康増進の取組として伯耆町社会福祉協議会と連携して行っている「フィットネス&スタジopal」 「みぞくちテラソ」が地域に定着し、5年経過する。今後も安定的な運営を図る必要がある。また、ジュニア運動能力向上講座等、地域の子供たちにも視点を当てた健康増進事業の実施等に起業人のノウハウが必要である。	R8 - R12	45,700
117	健康経営地域おこし協力隊受入事業	④		健康づくり	経営企画室	「フィットネス&スタジopal」 「みぞくちテラソ」の安定運営や地域での健康増進活動の活性化を図るため、健康増進運動に積極的に取り組む協力隊の受け入れを行う。 受入人数：1名	伯耆町社会福祉協議会と連携して行っている「フィットネス&スタジopal」 「みぞくちテラソ」で行う健康増進事業のほか、地域の子供たちに視点を当てたジュニア運動能力向上講座等を地域活性化起業人連携し、率先的に行うことで、地域の健康増進を図る。	R8 - R12	22,170
118	法定予防接種事業	④		医療保険	健康増進室	予防接種法に基づく予防接種に対し一部または全額を助成する。接種対象者に通知・勧奨を行い、一定の接種率を確保することで町全体の感染症流行を抑制する。	未接種者には接種勧奨を行い、接種率の向上を図る。	R8 - R12	271,165
119	インフルエンザ予防接種事業	④		医療保険	健康増進室	インフルエンザの蔓延予防と重症化を予防するため、全町民を対象に予防接種にかかる助成を行う。	対象者への周知を行い接種率の向上に努める。	R8 - R12	70,030
120	特別医療費支給事業	④		医療保険	健康増進室	身体障がい者その他特に医療費の助成を必要とする者の健康の保持及び生活の安定を図ることを目的に医療費を助成する。	対象者が必要な医療を受けることができるようマイナ保険証によるオンライン資格確認など、制度の提供体制の充実を図る。	R8 - R12	410,000
121	町医療費支給事業	④		医療保険	健康増進室	特別医療の助成対象とならない母子父子家庭、その他特に医療費の助成を必要とする者の健康の保持及び生活の安定を図るため、医療費を助成する。	対象者が必要な医療を受けることができるよう制度の周知を図る。	R8 - R12	9,650
122	ゆうあいバル修繕事業	④		地域福祉	福祉支援室	安全で安定した運営を行うため、計画的な修繕を行う。	施設運営において、3～5年に1度は必要な設備の取替等を計画的に行う。(源泉ポンプ取替、ろ過材の取替、浴槽の目地修繕、) 第2浴室は、水風呂が1名利用の陶器風呂であり、混雑時は洗い場もすぐには使えず、不便が生じているため、同型の陶器風呂を露天に増設する。	R8 - R12	30,990

参考資料

第4次伯耆町総合計画における取組予定事業一覧（R8～R12年度の総事業費5,000千円以上事業）

※（全体番号） ★：新規取組予定事業

※（基本方針） ①：住みよさを感じるまち、②：地域産業を育むまち、③：健やかで心豊かな人を育むまち、
④：健康で安心して暮らせるまち、⑤：住民とともに創る持続可能なまち

全体番号	事業名	基本方針	計画の名称 根拠となる その他	事業の政策分野	事業担当部門	事業の概要 (事業量等)	事業により改善すべき現状 又は 解決すべき課題、その他、備考等	実施 予定 年度	事業費 (単位： 千円)
123	訪問介護サービス 確保対策事業	④	過疎計画	介護・高齢者福祉	生活相談室	訪問介護サービスの確保を図るため、効率性や採算面で不利な条件にある中山間地域で事業実施している事業所に対し、運営費の助成を行う。	訪問介護サービスにおいて利用者宅への移動に要する時間の長短は報酬での評価がなく、移動時間がかかった部分については赤字の要因となっている。	R8 - R12	24,000
124	認知症予防事業	④		介護・高齢者福祉	生活相談室	もの忘れ検診で軽度認知障害と診断を受けた方、簡易スクリーニング検査で軽度認知障害相当に該当した方、もの忘れに不安のある方等を対象に、脳の活性化を図ることを目的に、認知症予防プログラムを用いた教室を実施する。	認知症高齢者の増加や物忘れ（認知機能の低下）に不安のある方の割合が多いことから、教室を実施することで、不安の解消に繋げ、認知機能の維持・向上に向けた支援が必要。	R8 - R12	18,550
★ 125	移住定住団地整備 事業	⑤	過疎計画	交流・定住	経営企画室	過疎高齢化が進展し、人口減少の著しい溝口地域でPFI事業による住宅団地整備を検討し、移住定住を促進する。	住宅地の供給を検討し、町外からの転入や子育て世代の定住を促す。 不動産鑑定 PFI導入可能性調査 アドバイザー	R8 - R12	10,645
126	集落支援員配置事業	⑤		まちづくり	町づくり推進室	集落支援員を配置し、地域や集落の課題を把握し課題解決に向けた取り組みを行う。	集落支援員を配置して、集落支援、移住定住・空き家対策を主として業務を行い、地域の実情に対応した集落の維持及び活性化対策が必要である。	R8 - R12	150,000
★ 127	空き家バンク設立 事業	⑤		まちづくり	町づくり推進室	空き家バンクを設立し、民間市場に出回らない空き家について把握し、情報発信することで、移住促進を図る。 移住コーディネーター採用 情報発信業務委託 空き家調査 等	移住定住を促進するため、空き家の把握、情報発信、利活用するための改修補助を行う。	R8 - R12	77,715
★ 128	鳥取県情報ハイウェイ接続スイッチ更新業務	⑤		行政運営	町づくり推進室	現行の接続スイッチは令和8年10月末でメーカー保守が終了するため、機器更新を行う。	機器更新により安定的な通信環境体制を整備する。	R8	6,595

自治会整備5ヶ年計画とりまとめ表 (R8~R12年度 総事業費100万円以上) (単位：万円)

事業名	件数	申請 事業費 (A)	集落 負担額 (A)- (B)	R8		R9		R10		R11		R12						
				補助額 (B)	事業費	補助額	事業費	補助額	事業費	補助額	事業費	補助額	事業費	補助額	事業費			
公共施設整備事業	4	1,828	888	1,728	890	838	100	50	0	0	0	0	0					
公共施設整備事業 (公民館等の整備拡充等) (公民館整備拡充：増改築)	1	100	50				100	50										
公共施設整備事業 (その他付随施設) (空調設備の新設・改修)	1	404	202	404	202	202	※R8-R12の期間内で実施予定											
公共施設整備事業 (その他付随施設) (フェンス等)	1	1,071	535	1,071	536	535	※R8-R12の期間内で実施予定											
公共施設整備事業 (その他付随施設) (福祉機能増強のための改修)	1	253	101	253	152	101	※R8-R9の期間内で実施予定											
町道改良事業	1	374	262	374	262	112	0	0	0	0	0	0	0					
町道改良事業 (幅員2.5m以上4.0m未満)	1	374	262	374	262	112	※R8-R12の期間内で実施予定											
農林事業	4	2,715	783	1,932	72	48	370	122	248	120	72	48	1,020	252	768	1,085	265	820
大型共同利用機械導入事業 (導入済機械更新)	3	2,115	423	1,692			250	50	200				900	180		965	193	
土地改良事業 (農道)	1	600	360	240	72	48	120	72	48	120	72	48	120	72	48	120	72	48
消防施設整備事業	2	386	250	386	250	136	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
消防施設整備事業 (器具)	1	100	50	100	50	50	※R8-R12の期間内で実施予定											
消防施設整備事業 (ポンプ購入) (その他自治会：31戸以上)	1	286	200	286	200	86												
総計	11	5,303	2,235	3,068	2,608	1,474	470	172	298	120	72	48	1,020	252	768	1,085	265	820